
HITACHI エンタープライズサーバ EP8000 シリーズ マシンコード更新手順

358x LTO テープ・ドライブ Firmware

バージョン: 4561 (Ultrium1 ドライブ Firmware)

53Y2 (Ultrium2 ドライブ Firmware)

57F7 (Ultrium3 ドライブ Firmware)

目次

1. 対象装置
2. Firmware ダウンロードに関する注意
3. ダウンロード時間
4. Firmware ダウンロード後のシステム・リポートについて
5. 事前 Firmware レビジョン確認
6. Firmware 自己解凍ファイルのダウンロード
7. システムへの Firmware コピー
8. Firmware ダウンロード方法
9. ダウンロード 後の Firmware レビジョンの確認
10. 終了作業

はじめに

本手順書は、LTO テープ・ドライブの Firmware を最新レビジョンに更新するために提供されています。

お客様御自身で最新の Firmware に更新することをお勧めします。

また、LTO オートローダ/ライブラリのメディア・チェンジャ(ロボット)部の Firmware を最新レビジョンに更新するためには別途作業が必要となります。
詳しくは、web サイトの LTO オートローダ/ライブラリのメディア・チェンジャ(ロボット)部の更新情報を参照下さい。

1.対象装置

THE-3580-H11	(3580 LTO 装置(HVD))
THE-3580-L11	(3580 LTO 装置(LVD))
THE-3580-H23	(3580 LTO Ultrium2 装置(HVD))
THE-3580-L23	(3580 LTO Ultrium2 装置(LVD))
THE-3580-L33	(3580 LTO Ultrium3 装置(LVD))
THE-3581-H17	(3581 LTO オートローダ(HVD))
THE-3581-L17	(3581 LTO オートローダ(LVD))
THE-3581-L23	(3581 LTO Ultrium2 オートローダ(LVD))
THE-3581-L28	(3581 LTO Ultrium2 2U オートローダ(LVD))
THE-3581-L38	(3581 LTO Ultrium3 2U オートローダ(LVD))
THE-3582-L23F2	(3582 LTO ライブラリ装置 (L23F2))
THE-3582-L23F3	(3582 LTO ライブラリ装置 (L23F3))
THE-3582-L23L2	(3582 LTO ライブラリ装置 (L23L2))
THE-3582-L23L3	(3582 LTO ライブラリ装置 (L23L3))
THE-3582FC8103	(LTO Ultrium2 LVD ドライブ)
THE-3582FC8105	(LTO Ultrium2 FC ドライブ)
THE-3582FC8034	(LTO Ultrium3 LVD ドライブ)
THE-3582FC8036	(LTO Ultrium3 FC ドライブ)
THE-3583-L**F2	(3583 LTO ライブラリ装置 (L**F2))
THE-3583-L**F3	(3583 LTO ライブラリ装置 (L**F3))
THE-3583-L**L1	(3583 LTO ライブラリ装置 (L**L1))
THE-3583-L**L2	(3583 LTO ライブラリ装置 (L**L2))
THE-3583-L**L3	(3583 LTO ライブラリ装置 (L**L3))
THE-3583FC8003	(LTO Ultrium LVD ドライブ)
THE-3583FC8004	(LTO Ultrium HVD ドライブ)
THE-3583FC8103	(LTO Ultrium2 LVD ドライブ)
THE-3583FC8105	(LTO Ultrium2 FC ドライブ)
THE-3583FC8033	(LTO Ultrium3 LVD ドライブ)
THE-3583FC8035	(LTO Ultrium3 FC ドライブ)
THE-3584FC1454	(LTO Ultrium LVD ドライブ)
THE-3584FC1454E	(LTO Ultrium LVD ドライブ)
THE-3584FC1456E	(LTO Ultrium FC ドライブ)
THE-3584FC1474	(LTO Ultrium2 LVD ドライブ)
THE-3584FC1476	(LTO Ultrium2 FC ドライブ)
THE-3584FC1479	(LTO Ultrium2 FC ドライブ)
THE-3588-F3A	(LTO Ultrium3 FC ドライブ)

2. Firmware ダウンロードに関する注意事項

- (1) 本作業中は当該 LTO 装置(ドライブおよびチェンジャ)に対するホストからのアクセス厳禁です。 Firmware ダウンロードがホストアクセスと競合すると Firmware ダウンロードが失敗(ハングアップ)し、回復不能となることがあります。このため、**本作業開始前に NetBackup 等のバックアップ・アプリケーションのデーモンを停止して下さい。**(“8.Firmware ダウンロード方法”を参照して下さい。)
- (2) Firmware ファイルをシステムに ftp する場合、必ずバイナリで ftp して下さい。 ASCII にて ftp したファイルをドライブにダウンロードすると、Firmware ダウンロードが失敗(ハングアップ)し、回復不能となることがあります。
- (3) ドライブの I/F 種と対応した Firmware ファイルを使用して下さい。 Firmware ファイルには SCSI ドライブ用/Fibre ドライブ用の 2 種があり、異なる Firmware ファイルをドライブにダウンロードすると、Firmware ダウンロードが失敗(ハングアップ)し、回復不能となることがあります。(“6. Firmware 自己解凍ファイルのダウンロード”を参照して下さい。)
- (4) テープ・ドライブにテープ媒体が挿入されている状態でダウンロードしないで下さい。 Firmware ダウンロードの実施前には、ドライブからテープ媒体を取外しておいて下さい。
- (5) ダウンロード中は、LTO 装置のオペレータ・パネルを操作しないで下さい。
- (6) Firmware ダウンロード中に電源を off しないで下さい。 ドライブに損傷を与え、交換を余儀なくされる場合があります。
- (7) システムへは、必ず解凍した Firmware ファイルをコピーして下さい。 Firmware 自己解凍ファイルは必ず WindowsPC にて解凍し、拡張子が “.ro” の Firmware ファイルをコピーして下さい。

3. Firmware ダウンロード時間

一般的な Firmware ダウンロード時間は 0.2 hr/ドライブです。

4. Firmware ダウンロード後のシステム・リブートについて

システム・リブート, 当該 LTO 装置の P.OFF/ON 共に不要です。

5. 事前 Firmware レビジョン確認

既に最新レビジョンの Firmware である場合は作業不要です。以下に Firmware レビジョンのチェック方法を示します。

当該ドライブ・スペシャルファイル(rmt*)に対して以下のコマンドを実行します。

【例】# lscfg -vl rmt3

上記コマンドを実行すると、以下の出力結果が得られます。" Device Specific.(FW)" を御確認下さい。

【出力例】

DEVICE	LOCATION	DESCRIPTION
rmt3	40-61-00-0,0	IBM 3580 Ultrium Tape Drive

```
Manufacturer.....IBM
Machine Type and Model.....ULT3580-TD1
Serial Number.....6811138887
Device Specific.(FW).....25D4
```

6. Firmware 自己解凍ファイルのダウンロード

(1) Windows PC (1)へ Firmware 自己解凍ファイルを受信するためのワーク・ディレクトリを準備して下さい。
(ex. C:¥download)

(2) ワーク・ディレクトリに下表に従って Firmware 自己解凍ファイルを Web からダウンロードして下さい。

【注意 1】ドライブ種にあった Firmware 自己解凍ファイルをダウンロードして下さい。

ドライブ種によってダウンロードする Firmware ファイルが異なるため、異なる Firmware ファイルをドライブにダウンロードすると Firmware ダウンロードが失敗(ハングアップ)し、回復不能となることがあります。

表内の Firmware 自己解凍ファイル名の****はレビジョンです。

ドライブ種	Firmware 自己解凍ファイル名	備考(ドライブ形名)
Ultrium1 SCSI	****L1S.EXE	THE-3580-H11 (3580 LTO 装置(HVD))
		THE-3580-L11 (3580 LTO 装置(LVD))
		THE-3581-H17 (3581 LTO オートローダ(HVD))
		THE-3581-L17 (3581 LTO オートローダ(LVD))
		THE-3583-L**L1 (3583 LTO ライブラリ装置 (L**L1))
		THE-3583FC8003 (LTO Ultrium LVD ドライブ)
		THE-3583FC8004 (LTO Ultrium HVD ドライブ)
		THE-3584FC1454 (LTO Ultrium LVD ドライブ)
THE-3584FC1454E (LTO Ultrium LVD ドライブ)		
Ultrium1 FC	****L1F.EXE	THE-3584FC1456E (LTO Ultrium FC ドライブ)
Ultrium2 SCSI	****L2S.EXE	THE-3580-H23 (3580 LTO Ultrium2 装置(HVD))
		THE-3580-L23 (3580 LTO Ultrium2 装置(LVD))
		THE-3581-L23 (3581 LTO Ultrium2 オートローダ(LVD))
		THE-3581-L28 (3581 LTO Ultrium2 2U オートローダ(LVD))
		THE-3582-L23L2 (3582 LTO ライブラリ装置 (L23L2))
		THE-3582FC8103 (LTO Ultrium2 LVD ドライブ)
		THE-3583-L**L2 (3583 LTO ライブラリ装置 (L**L2))
		THE-3583FC8103 (LTO Ultrium2 LVD ドライブ)
THE-3584FC1474 (LTO Ultrium2 LVD ドライブ)		
Ultrium2 FC	****L2F.EXE	THE-3582-L23F2 (3582 LTO ライブラリ装置 (L23F2))
		THE-3582FC8105 (LTO Ultrium2 FC ドライブ)
		THE-3583-L**F2 (3583 LTO ライブラリ装置 (L**F2))
		THE-3583FC8105 (LTO Ultrium2 FC ドライブ)
		THE-3584FC1476 (LTO Ultrium2 FC ドライブ)
THE-3584FC1479 (LTO Ultrium2 FC ドライブ)		
Ultrium3 SCSI	****L3S.EXE	THE-3580-L33 (3580 LTO Ultrium3 装置(LVD))
		THE-3581-L38 (3581 LTO Ultrium3 2U オートローダ(LVD))
		THE-3582-L23L3 (3582 LTO ライブラリ装置 (L23L3))
		THE-3582FC8034 (LTO Ultrium3 LVD ドライブ)
		THE-3583-L**L3 (3583 LTO ライブラリ装置 (L**L3))
THE-3583FC8033 (LTO Ultrium3 LVD ドライブ)		
Ultrium3 FC	****L3F.EXE	THE-3582-L23F3 (3582 LTO ライブラリ装置 (L23F3))
		THE-3582FC8036 (LTO Ultrium3 FC ドライブ)
		THE-3583-L**F3 (3583 LTO ライブラリ装置 (L**F3))
		THE-3583FC8035 (LTO Ultrium3 FC ドライブ)
		THE-3588-F3A (LTO Ultrium3 FC ドライブ)

- (3)ワーク・ディレクトリに格納した Firmware 自己解凍ファイルをダブル・クリックして解凍してください。解凍すると、Firmware 自己解凍ファイルと同じ名前で、拡張子が “.ro” の Firmware ファイルが作成されます。
例をあげると、53Y2L2F.EXE という Firmware 自己解凍ファイルを解凍すると、53Y2L2F.ro という Firmware ファイルが作成されます。

1 WindowsPC の OS は Windows2000(Build 2195 SP4)以降を推奨します。

7. システムへの Firmware コピー

- (1)システムの /tmp ディレクトリーに項番 6 で解凍した Firmware ファイルをコピーして下さい。

【注意 1】Firmware ファイルをシステムに ftp する場合、必ずバイナリで ftp して下さい。
ASCII にて ftp したファイルをドライブにダウンロードすると、Firmware ダウンロードが失敗(ハングアップ)し、回復不能となることがあります。

【注意 2】システムへは、必ず解凍した Firmware ファイルをコピーして下さい。 Firmware 自己解凍ファイルは必ず WindowsPC にて解凍し、拡張子が “.ro” の Firmware ファイルをコピーして下さい。

8. Firmware ダウンロード方法

- (1) **【ダウンロード前の準備】本作業中は当該 LTO 装置(ドライブおよびチェンジャ)に対するホストからのアクセス厳禁です。** Firmware ダウンロードがホストアクセスと競合すると Firmware ダウンロードが失敗(ハングアップ)し、回復不能となることがあります。NetBackup 等のバックアップ・アプリケーションのデーモンが停止しているか、再度御確認して下さい。

尚、NetBackup に関しては以下のコマンドを実行することでデーモンの停止を確認可能です。

【例】 /usr/opensv/volmgr/bin/vmps 何も出力されないことを確認して下さい。

- (2) tapeutil コマンドを実行し、ドライブ・スペシャルファイル(rmt*)に対して Firmware ダウンロードを実施します。

【例】# tapeutil -f /dev/rmt3 ucode /tmp/25D4SCSI.ro
Downloading microcode...
Updating VPD data...

【失敗例 1】存在しないドライブ・スペシャルファイル(rmt*)を指定した場合、下記メッセージが表示されます。ドライブ・スペシャルファイル(rmt*)を再確認して下さい。

```
# tapeutil -f /dev/rmt20 ucode /tmp/25D4SCSI.ro  
Open failed: No such file or directory
```

【失敗例 2】他のプロセスで当該ドライブを使用している場合、下記メッセージが表示されます。ホストからアクセスされていないか再度確認し、これが停止した後にダウンロードを実施して下さい。

```
# tapeutil -f /dev/rmt3 ucode /tmp/25D4SCSI.ro  
Open failed: Resource temporarily unavailable
```

【注意】 Firmware ダウンロード中に絶対に電源を off しないで下さい。ドライブに損傷を与え、交換を余儀なくされる場合があります。

- (3) " # " プロンプトが表示され、Download が正常終了していることを確認します。

9. ダウンロード後の Firmware レビジョンの確認

“ 5.事前 Firmware レビジョン確認 ” と同一の手順を実施します。

10. 終了作業

- (1) 下記コマンドを実行して、システムから Firmware ファイルを削除します。

【例】# rm /tmp/25D4SCSI.ro

- (2) 項番 6 で WindowsPC に作成したワーク・ディレクトリを削除します。

